

第 43 回小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会 並びに第 45 回全国高等学校総合文化祭（わかやま総文 2021）について（ご報告とお礼）

□ 第 43 回小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会について

第 43 回小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会が、7 月 23 日（金）から 25 日（日）の日程で、滋賀県大津市の近江神宮勸学館等で行われました。なお、基町高校は 4 大会連続 5 回目の出場となりました。

23 日（金）に抽選会が行われ、1 回戦の対戦相手は、長野県代表の長野高校に決まりました。長野高校は、競技かるたの最高位である A 級選手 3 名、B 級選手 4 名を擁する強豪校です。対する基町高校は、C 級選手 4 名です。段位からすると力の差が歴然としています。ただし、高校生の大会は試合の流れにより力の差が覆されることがあります。5 人のオーダーを決定し、チームワークを大切にしながら試合に臨むことを確認しました。

当日は、基町高校は緊張のせいか序盤からお手つきが目立ち、長野高校にペースを握られてしまいます。中盤にかけてやっと落ち着きを取り戻し、ほぼ互角の勝負ができる組もありましたが、最後は突き放され 0 対 5 で敗れました。試合を終えて、基町高校の選手たちが口にしていたことは、自分たちとは気持ちの強さがまったく違うということでした。対戦相手を意識させるような気持ちの強さがなければ全国のレベルでは戦うことはできないことをあらためて痛感しました。

□ 第 45 回全国高等学校総合文化祭（わかやま総文 2021）について

第 45 回全国高等学校総合文化祭（わかやま総文 2021）が、8 月 4 日（水）から 6 日（金）の日程で、和歌山市の和歌山県立体育館で行われました。全国高等学校総合文化祭は、都道府県対抗で行われますが、広島県代表の 8 名の選手のうち、基町高校から佐々木康太君が主将としてメンバーに名を連ねました。

抽選の結果、広島県は奈良県、長崎県、埼玉県のチームと同じブロックに入りました。ブロック内でリーグ戦として 3 試合を行い、リーグ戦の 1 位チームとともに、2 位チームのうち勝数の多い 4 チームが決勝トーナメントに進むことができます。ただし、今回は通常の 5 人団体戦ではなく 3 人団体戦で行われました。

さて、広島県チームは、長崎県のチームには勝利しましたが、奈良県と埼玉県のチームには敗れ、決勝トーナメント戦に進むことができませんでした。例年ならば、この大会に向けて代表メンバーを集めた練習会を行っていますが、今回はさまざまな事情により行うことができず、事前準備がほとんどできませんでした。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のため、上記の 2 つの大会は開催されませんでした。今年も開催が危ぶまれましたが、大会運営関係者のご尽力により開催に至り感謝しています。ありがとうございます。

今大会の出場にあたっては、生徒会、PTA、同窓会の皆様方に多大のご支援を賜りました。ありがとうございました。今後も感謝の気持ちを忘れることなく、頑張っていきたいと思っていますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。

なお、3 年生の部員は両大会をもって競技かるた部での活動を休止します。この学年は部員数が 17 名と歴代で最も多い学年でした。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの大会が中止となり、活動の成果を試す機会がありませんでした、それでも多くの部員が全国高等学校選手権大会まで残ってくれました。競技かるた部の伝統を守りながら、後輩たちの指導にあたってくれたことに本当に感謝しています。ありがとう。

